

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま		
○保護者評価実施期間		2025年10月1日	~ 2025年10月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間		2025年12月13日	~ 2025年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日		2025年12月25日	

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子療育クラスを開設している事。 ※より強化・充実を図ることが期待されること	・日常的にお子さんの成長をご家族と確認しています。 ・職員やご家族同士、話しやすい雰囲気作りを心がけています。 ・モニタリングの時期以外に懇談日を設けています。 ・茶話会や学習会等、ご家族同士が話し合える機会を設けています。	・ご家族同士、情報交換や悩み相談、レスパイト等の機会を増やしていくと良いと考えています。 ・お子さんの理解の様子や特性等、お子さんへの関わり方の理解を深める取り組みを、個別課題や集団活動の中で深める機会を更に増やしていくと良いと考えています。また、発達のチェックシートをご家族にも行って頂き、お子さんの発達や成長の様子を共有する事を検討しています。どの様にすると力を伸ばしていくのか、具体的な提案や取り組みを更にできていけると良いと考えています。
2	1クラス5人の少人数で療育を行っている事。	・お子さんが安心して活動に取り組める様に、活動内容によつては、お子さんの特性や発達の段階、お子さん同士の相性を考慮し、5人のお子さんを更に小さいグループに分けて活動しています。	・現状維持で良いと考えています。
3	ご家族に送迎を行って頂いている事。	(主に単独クラスでの取り組みについて) ・送迎の際に、進路や発達について等、ご家族の相談にタイムリーに応じる様にしています。 ・その日の様子を写真で取り、お迎えに来て頂いた時に、口頭での説明を加えながら、見て頂いています。	・利用希望者が減少している現状があり、事業所での送迎の検討が必要になってきていると感じます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・SNSを利用していない事。	・ご家族への連絡が、電話のみで、直ぐに繋がらない場合があり、折り返しの電話を頂いたりと、お手数をお掛けしている状況があります。 ・ご家族の方に、2ヶ月の1回の『おひさま通信』で、学習会や茶話会、個別懇談の日程等に関してお知らせをしていますが、お伝えをしてから期間が空く事で、周知が徹底する事ができず、当日、調整して頂く事があり、お手数をお掛けする事があります。	・SNSの活用を検討したいと思います。
2	ご家族に送迎を行って頂いている事。	・事業所で送迎を行っていない事で、利用をキャンセルされた方がおり、利用希望者が減少しています。 ・少人数でじっくり職員と関わる事ができるメリットはありますが、お子さん同士の交流の機会が少なくなる事が危惧されます。	事業所での送迎の検討が必要になってきていると感じます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		おひさま							公表日	2026年 2月 19日				
										利用児童数	2025年10月31日	回収数	27/34	7 9 %
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応						
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	96%	4%				<ul style="list-style-type: none"> いつも忙しそうにしているが、手厚い支援をありがとうございます。 適切であるのか、分からぬ。 たまに、人手が足りないのかなという時や日がある。 					<ul style="list-style-type: none"> 法廷基準に添う人数を配置しています。 職員がお休みを頂いていたり、外勤に出ている日があり、職員配置が手薄になる日があったと思います。ご家族の思いを聞かせて頂きまして、職員間でお子さんやご家族の方へ対応させて頂く機会の調整をし、お子さんやご家族の方に安心して利用して頂き、幅広い活動に取り組む事や、お話を聞かせて頂く時間を丁寧に設けていきたいと思います。 	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	81%	15%	4%									
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	100%											
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96%	4%				<ul style="list-style-type: none"> 部屋も清潔で活動時の部屋も子ども達に分かりやすくなっている。 お部屋の玩具が全て壁側にあるので、子ども達がぶつからない安心感はあるが、背中を向いたまま遊ぶ時もあるのが、寂しい。 各部屋には髪の毛が落ちている事が目立つ。 					<ul style="list-style-type: none"> お部屋の汚れに関しては、朝、職員全員で室内の清掃を行っていますが、午後の療育前の清掃は行っておりませんでした。午後の療育前に、午後の療育に向けた教材等の準備と合わせて、室内の汚れの確認を行いたいと思います。 お部屋の遊び方に問では、お子さんの遊びやすさを考えた玩具の配置となっていました。玩具の配置を少し調整し、お子さんやご家族が表情を見ながら遊ぶ事ができるスペースを作りたいと思います。 	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	100%											
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96%	4%									<ul style="list-style-type: none"> 契約時にお渡しさせて頂いている重要事項説明書に記入させて頂いている『支援プログラム』に添いながら、幅広い活動を経験して頂けるよう、職員間で相談しながら支援や活動の内容を検討しています。ご家族の皆様に、更に満足して頂ける内容となるよう、職員全員で学び、研鑽を積んで行きたいと思います。 	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%											
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92%	4%	4%			<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援ガイドラインに添いながら、児童発達支援計画を作成させて頂いておりますが、ご説明が不足している点やご家族の思いの確認が不足していた点があったと思います。今後、更に丁寧な説明や思いの確認をさせて頂きたいと思います。 						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	96%	4%										
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96%	4%										

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	66%	4%	15%	15%	・今まで特に交流をした機会はないので分からぬにチェックを付けた。 ・1年間、同じクラスのメンバーでの活動が主であり、他のクラスの子どもたちと交流する機会があると、子どもの成長にもつながるように感じる。	・認定こども園や保育所等と併行利用しているお子さんが大半であるため、交流の機会は設けていません。 ・他のクラスとの交流は、初対面の人に不安を感じるお子さんやいつもと違う流れに戸惑うお子さんがいる事が予想される事や、環境上、5・6人以上のお子さんを受け入れる事が難しい事等、お子さんの安心感や活動の安全面の観点から、設けていません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	88%	4%		8%	・分からぬが、家族も参加しやすい雰囲気だと思う。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				・お話できるだけで、安心できる。いつも聞いてくれてありがとうございます。 ・面談や相談した時には、対応してもらえ、子育てに助かっている。面談がもう1回くらいあれば良いと思う。	・2ヶ月に1回、個別懇談の時間を設けさせて頂いております。お忙しい中、お時間を頂きましてありがとうございます。お話の時間が必要な際には、いつでも聞かせて頂きたいと思います。お気軽に職員へお伝え下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	96%			4%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	62%	19%		19%	・年に数回、茶話会で交流の機会はあるが、一人っこのため、兄弟への支援については分からぬ。 ・父母、保護者同士の交流、兄弟向けのイベント等は、もう少し増えて欲しい。	・茶話会や学習会、単独通園日（親子クラス）等でご家族同士の交流の場を提供させて頂いています。 ・単独クラスや単独通園日には、談話室を解放し、ご家族同士の交流の場を提供しています。 ・きょうだい同士の交流の場は、午前と午後に療育を行っている事や土曜日も療育を行っている事もあり、提供していますが、療育に同席して頂く等、個別での対応を行わせて頂いています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	96%			4%		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	96%			4%	・とても丁寧	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	81%	4%		15%	・お迎えの際に、その日の様子を写真付きで説明があり、活動の内容や活動的目的を知る事ができます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%	4%		4%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	88%	4%		8%		・契約時にリスクマネジメントマニュアルをご提示し、説明をさせて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	74%	7%		19%	・まだ、一度も避難訓練等に参加していないので分かりません。	・地震の避難訓練は、それぞれのクラスで、少なくとも年1回実施できる様、年間計画を立てて実施しています。 ・火災の避難訓練は、隣接するつくしんば学級と合同のため、平日の午前クラスのみ実施しています。来年度は、午後のクラスも火災の避難訓練を、つくしんば学級と合同で予定したいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%	4%		4%		

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	74%	7%		19%	・通い始めてから、事故等は発生したことが無いので分からない。（2名） ・事故の状況になった事がない。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	96%			4%	・おひさまの先生になら何でも話せると言っていた。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	96%			4%	・いつも楽しみに通う事ができている。 まだ、物理的にできないことや気持ちをコントロールできないこともあるが、これからもよろしくお願いたい。 ・毎日通いたいとせがんでくる程、楽しみにしている。 ・「おひさま行く！」と朝とても楽しみに通所しています。 ・とても毎回、通うのを楽しみにしている。活動内容も楽しんでいるようだ。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	96%			4%	・療育時間があと少し長めだとよいと思う。 ・親子共々、支援してもらい感謝している。 ・いつもあたたかい見守り支援があり満足している。ありがとうございます。	・療育時間に関しては、今後、じっくり検討させて頂きたいと思います。 ・これからも、お子さんとご家族の方が、安心して楽しく、充実した時間を過ごして頂ける様、職員間でコミュニケーションを取り、チームで取り組んで行きたいと思います。ご家族の皆様には、日頃より、温かく、深いご理解とご協力を頂きまして、感謝申し上げます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おひさま				
		公表日 2026年 2月 19日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%				
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%				
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		昨年度より、第三者による外部評価を実施する事ができました。今年度も実施予定です。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%				
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	80%	20%	事業所独自の評価表を使用しあそさんについてアセスメントをすると共に、日々の行動の様子を評価し、児童発達支援ガイドラインの項目に添いながら、児童発達支援計画を作成しています。また、ご家族の方からのニーズの聞き取りをモニタリング時に児童発達支援計画に反映しています。また、新しい児童発達支援計画の検討会議時には、全職員が参加し行っています。		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%				

	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%		隣接する児童発達支援センターの職員と児童発達支援事業の職員がメンバーとなる研修委員会があり、合同で学習会を開催しています。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		100%	支援内容には含まれていませんが、ほとんどの利用児が、日常的に過ごす並行通園先があります。また、ご家族のニーズを聞かせて頂き、地域の子ども園等で行われているサロンの紹介を行っています。	ご家族のニーズや、子どもたち自身の思いに耳を傾けつつ、おひさまとしてのインクルージョンの進め方を検討していきたいと思っています。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者会は開催していませんが、茶話会やご家族向け学習会を開催し、ご家族同士が交流する機会を設けています。また、ご兄弟同士の交流する機会は設けていませんが、ご兄弟の療育への同伴は歓迎しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		法人のHPにて、おひさまの活動の様子を『春・夏・秋・冬』に分けて、写真で紹介しています。また、法人HPのおひさま事業所紹介サイトでは、『自己評価結果』と『支援プログラム』の公表を行い、地域への周知を図っています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	ご家族から配慮点等を聞かせて頂き、アレルギーのある食品の提供を控えています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		法人内のリスクマネジメント委員会に事業所職員が参加し、情報の共有やリスクについての意見交換を行っています。その内容は、委員会に参加していない職員にも周知されています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		毎回の療育前後の打ち合わせや振り返りの中で、原因と対応、予防方法について話し合い、取り組んでいます。また、毎月行われる職員会議で、先月の件数や事案について確認を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 12月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 13日 ~ 2025年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 12月 13日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	12園	(回答数)	8園
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象児を児童発達支援事業利用児としているため、保育所等訪問支援計画の内容や園での様子、先生とのお話や園での支援の様子について、児童発達支援事業でも共有する事ができる点や、必要な取り組みに関しては、事業所内でも取り組む事ができ、お子さんのスキルアップやスキルの定着に繋げていく事ができる。	園での行動観察や必要に応じて個別的な関わりを行う中で、支援グッズの検討や導入等を担任の先生と行っている。また、必要な支援グッズに関しては、事業所で作成し、園で使用して頂く事をお願いするケースがある。	発達支援に関する研修会へ参加し、アセスメントや支援内容の組み立て方、取り組み方について学ぶ機会を設ける。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援事業の職員が兼務しており、児童発達支援事業内の行事や個別療育等があり、保育所等訪問支援は、多くても月1回が限度である事。	保育所等訪問支援計画の実施が、園の担任の先生まかせとなってしまう事がある。	訪問者を担当職員とせず、複数の職員が行う等、回数多く実施できる体制作りを整える。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		おひさま						
		公表日 2026年 2月 19日						
		利用児童数 2025年12月13日					回収数 79%	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	73%			27%		基本的には、園の担任の先生が準備された教材を使用させて頂いています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%					
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	91%	9%				訪問の日程調整や訪問時、先生と確認をさせて頂き、了承を頂いております。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	91%	9%				日程調整の際には、園の意向を聞かせて頂いております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	100%					
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができると思っていますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	91%				訪問時、ミーティングの時間を設けて頂いたり、時間の調整が難しい際には、電話でミーティングの時間を頂き、今日の様子の振り返りや普段の様子の確認、先生の考え方や思いや悩み等を聞かせて頂き、支援の仕方や方向性について意見交換をさせて頂いております。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	91%				評価表記入の依頼時にお渡しさせて頂いた案内に記載させて頂いた通り、法人HPで自己評価の公表を行わせて頂いております。ご覧になりたい方は、『社会福祉法人 介愛会 おひさま』で検索して下さい。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91%				契約時にもお伝えさせて頂いた通り、訪問時や訪問の報告時等、ご家族の方やお子さんが、不快や不安に感じない様に、配慮しています。不足する点や心配に感じる点等がありましたらお伝え下さい。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	73%				緊急時は、児童発達支援事業リスクマネジメントマニュアルに記載させて頂いた通り、訪問先の園の方針に従う事としています。 2026年度は、保育所等訪問支援でお伺いさせて頂いた際、園の緊急時（火災・地震・津波等）の対応について、口頭、若しくは、マニュアルを拝見させて頂く等、園の先生と緊急時の取り組みに関して確認をさせて頂きたいと思います。更に、おひさまの『リスクマネジメントマニュアル』をお渡しさせて頂きたいと思います。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	91%				多機能型の事業を行っており、保育所等訪問支援事業を利用しているお子さん全員が、児童発達支援事業を利用しています。児童発達支援事業の方で避難訓練等を実施しています。訪問先での安全面は、訪問先の園に従う事となっております。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%			・いつも楽しみにしている。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年 2月 19日

おひさま

利用児童数 2025年12月23日 回収数 75%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> いつも丁寧な対応、報告書ありがとうございます。 いつも子ども達のことを細かく見て貰えて、私たちが見落としていた場面など気付かされることが沢山ある。 具体的な体験談を交えながら助言を貰っている。 現実的で、無理のない内容の助言で実行しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 園の先生と普段の様子の確認やおひさまでの様子の情報提供を通して、お子さんの様子について、理解が深まり、貴重な時間を頂いております。大きな集団生活の中で、配慮が必要なお子さんへ、お子さんの理解や行動の方に合わせた関わりを実践をされる、園の先生方に頭が下がる気持ちでいっぱいです。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> 十分満足しています。 信頼の持てる知識と方法で安心できる。 	<ul style="list-style-type: none"> これからも、お子さんの行動理解、支援方法について、研鑽を積んで行きたいと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> 十分満足しています。 いつも丁寧に話を聞いて貰っている。 質問に対して、その都度意見や助言を貰っている。必要に応じて支援に必要なアイテム等を実際に持ってきて貰う事で参考にしたり、取り入れやすい。 的確で温かな言葉で伝えてくれるので、相談しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> これからも園の先生とのお話を通して、お子さんへの支援の方法について、一緒に考えさせて頂きたいと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したこと、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	78%	22%		<ul style="list-style-type: none"> 十分満足しています。 事業所で実際に行っている支援を知り実践して、始めは効果があったが、途中から効果がなくなることがある。人的な関わりも影響があるのかと思っている。 園内で悩んでいたことが、専門的な方に相談する機会を貰い、より良い関わりへのヒントが見つけられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問させて頂く中で、先生とお子さんへの支援内容の検討や確認させて頂く事が、おひさま職員も学びがいっぱいです。支援をスタートし、取り組みが長くなると、効果が薄れる事や、関わる人でも様子が変化する事は、おひさまでもあります。その際に、おひさまでは、その都度、その時のお子さんに合わせて、支援内容の見直しを行っています。訪問は、約月1回のペースで、支援の効果が無くなったタイミングで、タイムリーにお伺いできない時が多いと思います。必要な際には、お気軽に、お電話での相談も可能ですので、ご連絡頂けましたら嬉しいです。
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> 十分満足しています。 大変参考にしている。 	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<p>・毎年、保育所等訪問支援を含め、おひさまにお世話になっている。いつも、丁寧に訪問支援員の方はじめ、対応して頂きありがとうございます。今年度は2名のお子さんがおひさまに通所しているが、園としての困りごとや悩み事にもいつも相談に載ってもらい感謝している。いつも保護者と療育探しの面談をする時、迷わずおひさまを薦めている。しかし、運転に自信が無い、車が無いという保護者が今年はおり、おひさまに繋げることができなかった。来年度もよろしくお願ひ致します。おひさま・つくしんば学級に本当にお世話になりますが、どうぞよろしくお願いします。</p> <p>・こちらの困りごとを聞きとつてもらい具体的なアドバイスをもらえることに感謝している。</p>				<p>・お忙しい中、日程調整や当日の訪問のご対応、訪問終了後の話合いの時間等、たくさんのご協力とご理解を頂きまして、本当に感謝申し上げます。先生方のお子さんへの深く、暖かい思いを聞かせて頂いたり、活動を拝見させて頂く度に、感銘を覚えた事がたくさんありました。また、定期的に訪問をさせて頂く中で、お子さんの成長に感動を頂いた事もありました。そして、おひさまを利用してお友だちは、毎日、先生方の思いや取り組みを通して、充実した時間や安心できる時間を過ごしている事を感じました。おひさまは、園の先生とお子さんに付いて情報を共有したり、支援を考えさせて頂く事で、チームでお子さんの応</p>		

<ul style="list-style-type: none">・支援員の方との話し合いの中でその子の成長を振り返る良い機会となっているが、こちらの支援の配慮不足を感じことがある。・おひさまで行っている関わりや支援方法を具体的に教えて貰い、園でも同じような援助の仕方を意識することができている。定期的に訪問して貰い、子供の成長と一緒に感じられるのが嬉しい。・「支援」といった、専門的すぎない関わり方に無理なく自然な方法を提供して貰い、対象児童だけではなく、全体的な保育の見直しを改めて考えさせられている。保育室に入って、もどかしい気持ちにさせてしまうかと思うが、よろしくお願ひします。・いつもやさしく丁寧に話を聞いて貰い、説明をして貰っている。担任ともども信頼している。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。	援ができている充実感、心強さを感じています。これからも、引き続き、どうぞよろしくお願い致します。
--	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おひさま			
公表日 2026年 2月 19日					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営体制	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%		訪問先の園の物を使用させて頂いたり、先生へ支援内容の提案をさせて頂いたり、事業所で作成した支援グッズをお渡しさせて頂いた事がありました。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		児童発達支援事業と兼任であるため、利用希望者の人数によっては、訪問回数に影響がでる事があります。	現在、個別担当制を取っていますが、担当以外の職員も訪問をさせて頂く等、契約させて頂いているお子さんへの訪問回数が偏らない様に調整して行きたいと思います。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%			
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%			
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%			
	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%			
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
適切な支援の提供	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%			
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%			
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%			
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	75%	25%		隣接している事業所の職員が参加しており、研修会の案内等の情報を頂いています。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	多機能型の事業を行っており、保育所等訪問支援事業を利用しているお子さん全員が、児童発達支援事業を利用しています。（項目：33・43・44・45にて共通事項）ご家族同士で交流する機会は、児童発達支援事業にて、茶話会や学習会等を開催し設けています。	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		ご家族へは、児童発達支援事業の方で、いつでも相談に応じる事ができる事を契約時に説明すると共に、相談の申し入れがあった際には、懇談の時間や電話相談の時間を設けて対応しています。また、概ね2ヶ月1回、懇談の機会を設け、事業所を利用されている全てのご家族から、定期的にお話を聞かせていただく機会を設けています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	法人のHPにて、おひさまの活動の様子を『春・夏・秋・冬』に分けて、写真で紹介しています。また、法人HPのおひさま事業所紹介サイトでは、『自己評価結果』と『支援プログラム』の公表を行い、ご家族への周知を図っています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%	訪問先の非常時等の対応に従っています。また、児童発達支援事業のリスクマネジメントマニュアルに、『保育所等訪問支援に関しては、訪問先の園に従います』と明記し、ご家族に配布しています。	2026年度、保育所等訪問支援でお伺いさせて頂く園と、緊急時（火災・地震・津波等）の対応について、口頭、若しくは、マニュアルを拝見させて頂く等、園の先生と緊急時の取り組みに関して確認をさせて頂きたいと思います。更に、おひさまの『リスクマネジメントマニュアル』をお渡しさせて頂きたいと思います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	25%	75%	児童発達支援事業にて作成し、定期的に行っています。訪問時は、訪問先の対応に従っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%	児童発達支援事業にて作成し、予防や対策を検討しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		児童発達支援事業にて研修の機会を設け、実施しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%			